

教育環境整備についての要望(追加)

北千里小学校 PTA

I. 青山台小学校の適正化について

今回の統廃合が実現しても青山台小学校は適正規模に到達しません。したがって、引き続き本来の目的である青小の規模を適正化するようにご尽力いただきますよう要望いたします。当協議会の議題にはあがっていませんので、本来は要望書にあげるべきではないのかもしれませんが、元々この統廃合は吹田市の「第2期学校適正化事業」として、青小の「適正化」を目的とした事業です。しかし、実現の可能性は非常に低い状況です。そこであえて要望の筆頭に揚げさせていただきました。

北小が数年にわたり統廃合に反対してきましたのも、青小が今後数年で適正化する可能性がかなり低いということが理由のひとつであるということは皆様にもご承知いただいていることと思います。同じ学年の友達がこれまでの半数以下になってしまう児童たちのことを思えば、北小の廃校というのは、適正化事業のひとつのプロセスであり、今後適正化に向け、邁進いただくことを約束してもらわなければ、到底納得のできる統廃合ではありません。今後市教委のみなさまには、現在進行しております「千里ニュータウン再生指針」の中に学校適正化を組み込み、開発の最優先地域に青山台を指定できるよう積極的に訴えていただく等、今後の具体的な方針を何らかの形で表明していただきたいと強く希望します。

II. 校名変更について

北小にとっては、本来の「適正化」という目的にかなわない学校へ行くことになる子どもも出てくるという事実があります。また、受け入れ校にとっては、いままで余裕をもって使っていた教室がなくなる等のデメリットもあります。ハード面としては改修などで恩恵はこうむりますが、ソフト面では、すべての子どもたちと保護者が新しいスタートラインに立って始めようという意識を持っていただくことはとても意義のあることだと思えます。

竹見台においても、同じ敷地内どうしの統合であるにもかかわらず、保護者の間に不安が生じ、地域の提案によって準備委員会の中で「千里たけみ」という新しい校名が生まれ、第1期適正化事業が平和的に実現されました。

両校の40年以上に及ぶ歴史も尊重されなければなりません。これを契機として、関係諸団体及び市教委の皆様には、青小 PTA も提案されていますように、千里ニュータウンの再生という観点から、今後新しいまちづくりがおこなわれるのと同じように学校も新しくなり、新しい校名で新しいまちと学校の歴史を一緒に作っていかうという気持ちを少しでもお持ちいただければうれしいです。

Ⅲ. 改修工事について

統合にあたり、子どもたちの安全、衛生を考えれば校舎の改修は必須で、両校の改修工事はぜひとも早急にすすめていただくべきです。

北小としましても両校を見学させていただき、共に声を合わせてお願いしていかなくてはという思いを強くしました。

古小については、「トイレ、手洗い場が不衛生」「下駄箱に亀裂」「廊下の床材の破損や一部滑りやすい箇所もある」「廊下の天井の一部がはがれている」「中庭が荒れている」等の所見があり、統合の時期に合わせて早急に改修していただき、また安全面については、学年によって3箇所に分かれている校門について、開閉や警備員等の問題の早急な解決を是非ともお願いしたいと思います。

青小についても、「雨漏り」「トイレのドアの破損」「便器が幼児用でドアが低い」「洗面台が低い」「窓枠をアルミサッシに」「未使用の階段やドアは閉鎖すべき」「動線が悪い」「教室内の段差が気になる」「廊下の床材がういたり、ひびがある」「正門が通学路になっていない」「音楽室の窓から校舎の屋根に出られるのは危険」など改修必要箇所がいたるところで見られることから、青小も指摘されているように校舎の早急な大規模改修を強く希望します。